

<2020年度 児童発達支援 保護者向けアンケート>

公表日：2021年3月

発達支援ルーム にこっと
中野教室

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	ご意見
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	11	1	・施設は清潔だが、もう少し広いと有難い。また、出口すぐ側に道路があるので危険を感じる時がある。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	36	1	2	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	34	7	0	・限られた空間を有効に使われており、満足しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	38	2	0	・綺麗で清潔感もあり、安心して通えています。子どもも先生方と会えるのが嬉しそうです。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画[ii]が作成されているか	36	4	0	・一人一人個性があり、個性を潰してしまうことなく、いい個性を伸ばしながら社会への協調性や学びや経験を積んでいくのが、ベストだと思うので、その子その子の性格や考えを知って頂き、必要な支援や伸ばすべき特技を見つけて支援して頂きたいと思っています。 ・必要なプログラムを固定化するのは良いと思います。それによって成長が見られました。 ・親でも気付かない長所短所をよく見てくださっています。 ・手先を使いかたをお願いしているがプログラムの変更がなされない。またグループでの取り組みもあっているのかわからない。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	35	3	2	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	37	3	0	
	⑧	活動プログラム[iii]が固定化しないよう工夫されているか	35	2	2	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				
保護者 への 説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	39	0	0	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	39	1	0	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング[iv]等）が行われているか	23	6	7	・ペアレントトレーニングについて前から勉強したいとは思っているが、なかなか書籍などを読む時間もないので、分かりやすく教えて貰えたら嬉しいです。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	38	1	0	・つい話が長くなってしまいがちですが、いつもお話をしっかり聞いていただきアドバイスを頂けるのでとても助かっています ・いつも丁寧に不安なことは一切なくされていると思います
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	36	4	0	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	12	9	・保護者同士の連携は特にありませんが、他は満足しています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	31	3	6	・通常の療育の他に、相談する場がある事を知りません。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	34	4	2	・メールやブログよりも、今はLINEをよく利用するので、色々と確認しやすいです。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	22	5	11	
非常 時 等 の 対 応	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	37	3	0	
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	22	7	9	
満足 度	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	6	12	
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	36	4	0	・にこっとが週の予定にしっかり組み込まれ、親子ともに通所を楽しみに通っています。かけがえない場所です。
満足 度	㉓	事業所の支援に満足しているか	36	3	0	・先生方には良くしてもらっていて、子どもも楽しみにして、通っています。また同じ時間帯に通っているお友達の顔も覚えていて、一緒に遊ぶのを楽しみにしているようです。 ・療育のスタッフさんは凄いなと思います。

<2020年度 放課後等デイサービス 保護者向けアンケート>

公表日：2021年3月

発達支援ルーム にこっと
中野教室

			はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見・自由記述
体制・ 環境・ 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	3	0	・個別活動の際、スペースを区切るとはいえ、同室だと周囲の影響を受けやすいかもしれません。 ・個別の時に他のお子さんが気になったりすることがあるようです
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	2	0	
適切な 提供支援	③	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されているか	9	0	0	
	④	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8	1	0	活動プログラムについて、個別活動は、その日の活動内容や個々の活動の順序によって、本人の気持ちにかなりむらがある気がします。
保護者への 説明等	⑤	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	0	0	個別グループとも、振り返りの時間をもう少し長くすれば、説明が十分できると思います。
	⑥	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	0	0	
	⑦	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	1	0	
	⑧	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	2	
	⑨	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1	4	
	⑩	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	2	0	
	⑪	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2	2	
	⑫	個人情報に十分注意しているか	6	1	1	
の非常 対応時	⑬	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	2	1	
	⑭	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	1	2	先日初めて避難訓練の現場に立ち会いました。いざというときに靴を履かずに逃げるのか、下駄箱のところでもめないか、非常時に備えて何か別の対策を取るのか、今後検討が必要だと思いました。
満足 度	⑮	子どもは通所を楽しみにしているか	7	1	0	今年度は、グループは面白い、楽しいと子ども自身言っています（昨年はそれが個別でしたが）。学校が終わってから活動までの移動に要する時間を考えると、曜日や時間の融通、グループ活動の振り替えが可能だとありがたいと思います。
	⑯	事業所の支援に満足しているか	9	0	0	

<2020年度 児童発達支援事業 自己評価結果表>

公表日：2021年3月

発達支援ルーム にこっと
中野教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		法令による床面積を確保しています。個別療育の利用が多い日は、スペースの工夫が必要になります。また、部屋全体の音量が大きくなる時もあります。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		人員基準以上のスタッフを配置しています。また、心理職などの有資格者のみを配置しています。グループ運営のために、人数が十分な時は減らす工夫をしています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		療育活動に不要なもの・刺激になるものを、教室内に配置しないようにしていますが、仕切りが不明確になる時があります。また、玄関の先に階段が2段あるので、危険があります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日の清掃と定期的な清掃を実施しています。特に今年度からコロナ対策の一環として、療育ごとの机や教材の清掃や除菌を入念に行っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		ガイドラインに基づいた業務改善の話合いなどを、定期的にスタッフ間で行っています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		毎年、保護者アンケートを冬に実施しています。保護者のみなさまからの声をもとに、改善策を検討いたします。対応が難しいご指摘については、ご理解を得られるよう説明を行います。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		毎年実施しており、保護者には書面とホームページで報告しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者評価は実施しておりません。今後の課題です。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		日々のOJTやケースカンファレンスとともに、講師を招いて研修を実施しています。本年度は例年より回数は減りましたが、区の研修や講習に積極的に参加しています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者との相談の中でニーズや課題を確認し、定期的にカンファレンスを行い、担当者と児発管によって支援計画を作成しています。計画作成時だけでなく常に立ち戻りながら支援を行う必要があると感じます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		教室で必要に応じて、WISC-IV、新版K式などの発達検査を実施したり、他機関で実施した検査結果を支援に活かしています。必要に応じて、ST・OTの個別相談や評価も行います。今後さらなるツールの活用のために研鑽を積んでいます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		個別支援計画は、各項目に分けて、わかりやすく記入するように努めています。ただし、支援計画の説明が期日後になってしまうことが多くあるので、スケジュールを意識してモニタリングや作成を行う必要があります。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		また、日々、支援計画を基にして、支援に取り組んでいます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		グループ療育の活動プログラムは、グループリーダーがが立案者となって中心となり、チームで日常的に検討し、お子さんに合った内容、積み重ねていく内容にするよう努めています。各専門性を活かしたプログラムになるよう話し合っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		お子さんの年齢や特徴に合わせて、個別療育とグループ療育を組み合わせた支援を提供しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		グループ療育の前は、必ず時間をとって行っています。ただし、日によっては時間の確保が難しい場合があるため、今後の課題とらえています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎日必ず行っていますが、お子さんの帰りが遅くなる時や片付けが多い時には、振り返りが終業時間後になることがあります。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の記録を丁寧に記載するように努めています。時間が少ない時には記録量が少なくなる時があります。記録をもっと支援の改善につなげていけるよう努めていきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月ごとに必ず内部評価として、担当者と児発管がモニタリングをし、児童発達支援計画を更新しています。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		管理者や児発管が、区との連携・相談を主に担っています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		状況やニーズに応じて、子ども家庭支援センター、保健センター、発達センター、病院などと連携を行っています。

関係機関や保護者との連携	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			在籍していません。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			在籍していません。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援を行ったお子さんはいませんが、ご家族の要望に応じて、園訪問や連携を行っています。本年度より中野区でも訪問支援を行い連携を強めています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		ご家族の希望に応じて、杉並区・中野区の形式に沿った就学支援シートの作成をしています。中野区では、就学後の会議にも参加しています。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		杉並区・中野区主催の研修に参加しています。スタッフ個人での参加部分をスタッフ間で広くシェアしていける工夫が課題です。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	実施していません。
	㉙	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		参加の必要がある時には、管理者が参加する体制をとっています。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎回、保護者とお子さんが一緒に来室していますので、お子さんの状況などを保護者と共有し、相談するように努めています。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		例年のような講師を招いた講習会やペアレントプログラムを講じて、直接的な支援を行うことはできませんでしたが、そこに準じた支援を療育後のフィードバック時に個別に行っています。
保護者への説明責任等	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に管理者・児発管が行っています。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		お子さんに合わせて、ガイドラインの支援内容から必要な項目を選択して、担当者や専門職、児発管により作成しています。作成時と更新時には、保護者に説明をして同意を得ています。
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日常的に、児発管や心理職・保育士が中心となり保護者支援を行います。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	開催していません。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		児発管もしくは担当者が、迅速・丁寧に対応する体制を整えています。
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		本年度より、LINEを活用し、開室時間以外の連絡も受け取るようにしました。会報は不定期ですが、今年度より通信の発行を開始いたしました。教室からのお知らせやイベント報告を掲載していきます。
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報には細心の注意をもって取り扱っています。
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お子さんはもちろんのこと、保護者の方に合わせた、情報伝達・コミュニケーションを心がけています。
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	実施していません。
非常時等の対応	㊶	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		今年度、各種マニュアルの整備を行いました。またコロナ感染対策を別途作成し、実施しています。
	㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		訓練は各曜日で1回ずつ行いました。引き続き、必要に応じてマニュアルの修正を行っています。
	㊸	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		利用開始時にご記入いただく生育歴シートの項目で確認しています。今後、一覧を作成し、さらにスタッフ間で共有していきます。
	㊹	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		おやつなどの飲食物は提供していません。小麦粉を使った製作などのときはその都度確認しています。今後、一覧を作成し、さらにスタッフ間で共有していきます。
	㊺	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		日々のふりかえりの中で共有しています。また、事例として、ミーティングで確認し記録を残しています。事例集の作成は今後、時期ごとに行っていきます。
	㊻	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		毎年1回、全体研修を行っています。また、杉並区・中野区主催の研修に責任者やスタッフが積極的に参加しています。
	㊼	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			身体拘束は行いません

<2020年度 放課後等デイサービス 自己評価結果表>

公表日：2021年3月

発達支援ルーム にこっと
中野教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		法令による床面積を確保しています。個別療育の利用が多い日は、スペースの工夫が必要になります。また、部屋全体の音量が大きくなる時もあります。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		人員基準以上のスタッフを配置しています。また、心理職などの有資格者のみを配置しています。グループ運営のために、人数が十分な時は減らす工夫をしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		療育活動に不要なもの・刺激になるものを、教室内に配置しないようにしていますが、仕切りが不明確になる時があります。また、玄関の先に階段が2段あるので、危険があります。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		ガイドラインに基づいた業務改善の話し合いなどを、定期的にスタッフ間で行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		毎年、保護者アンケートを冬に実施しています。保護者のみなさまからの声をもとに、改善策を検討いたします。対応が難しいご指摘については、ご理解を得られるよう説明を行います。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		保護者には書面とホームページで報告しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者評価は実施しておりません。今後の課題です。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		日々のOJTやケースカンファレンスとともに、講師を招いて研修を実施しています。本年度は例年より回数は減りましたが、区の研修や講習に積極的に参加しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		保護者との相談の中でニーズや課題を確認し、定期的にカンファレンスを行い、担当者や児発管によって支援計画を作成しています。計画作成時だけでなく常に立ち戻りながら支援を行う必要があると感じます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		教室で必要に応じて、WISC-IV、新版K式などの発達検査を実施したり、他機関で実施した検査結果を支援に活かしています。必要に応じて、ST・OTの個別相談や評価も行います。今後さらなるツールの活用のために研鑽を積んでいます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		グループ療育の活動プログラムは、グループリーダーがが立案者となって中心となり、チームで日常的に検討し、お子さんに合った内容、積み重ねていく内容にするよう努めています。各専門性を活かしたプログラムになるよう話し合っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○	お子さんに応じた課題設定をしています。コロナ禍においては、長期休暇の特別課題を実施することに難しさがありました。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		お子さんの年齢や特徴に合わせて、個別療育とグループ療育を組み合わせた支援を提供しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		お子さんの年齢や特徴に合わせて、個別療育とグループ療育を組み合わせた支援を提供しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎日必ず行っていますが、お子さんの帰りが遅くなる時や片付けが多い時には、振り返りが終業時間後になることがあります。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の記録を丁寧に記載するように努めていますが、時間が少ない時には記録量が少なくなる時があります。記録をもっと支援の改善につなげていけるよう努めています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月ごとに必ず内部評価として、担当者と児発管がモニタリングをし、児童発達支援計画を更新しています。
関係機	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		お子さんのニーズや課題に合わせて、対人・社会性・コミュニケーション・認知・運動などの様々な支援を行っています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		管理者や児発管が、区との連携・相談を主に担っています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		保護者から情報を提供いただいたり、学校のHPなどを見て情報共有をしています。また、必要に応じて学校訪問などの連携を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			
関係機	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		就学支援シートや個別支援計画などの資料を保護者から提供していただき、情報共有を行っています。

関 や 保 護 者 と の 連 携	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		杉並区・中野区主催の研修に参加しています。スタッフ個人での参加部分をスタッフ間で広くシェアしていける工夫が課題です。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	実施していません。
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○		参加の必要がある時には、管理者が参加する体制をとっています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎回、保護者とお子さんが一緒に来室していますので、お子さんの状況などを保護者と共有し、相談するように努めています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		例年のような講師を招いた講習会やペアレントプログラムを講じて、直接的な支援を行うことはできませんでしたが、そこに準じた支援を療育後のフィードバック時に個別に行っています。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に管理者・児発管が行っています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日常的に、児発管や心理職・保育士が中心となり保護者支援を行います。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	開催していません。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		児発管もしくは担当者が、迅速・丁寧に対応する体制を整えています。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		本年度より、LINEを活用し、開室時間以外の連絡も受け取るようにしました。会報は不定期ですが、昨年度より通信の発行を開始いたしました。教室からのお知らせやイベント報告を掲載していきます。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報には細心の注意をもって取り扱っています。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お子さんはもちろんのこと、保護者の方に合わせて、情報伝達・コミュニケーションを心がけています。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	実施していません。
非 常 時 等 の 対 応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		今年度、各種マニュアルの整備を行いました。またコロナ感染対策を別途作成し、実施しています。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		訓練は各曜日で1回ずつ行いました。引き続き、必要に応じてマニュアルの修正を行っています。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		毎年1回、全体研修を行っています。また、杉並区・中野区主催の研修に責任者やスタッフが積極的に参加しています。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			身体拘束は行いません
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		おやつなどの飲食物は提供していません。小麦粉を使った製作などのときはその都度確認しています。今後、一覧を作成し、さらにスタッフ間で共有していきます。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		日々のふりかえりの中で共有しています。また、事例として、ミーティングで確認し記録を残しています。事例集の作成は今後、時期ごとに行っていきます。